

沈埋工法

NETIS 登録 No.SK-060010-A

B

ボックスカルバート特殊工法



沈埋工法は、スペシャルスラリー（自硬性安定液）又はベントナイト安定液を壁面安定液としてトレンチを掘削し、一定の長さにあらかじめ連結したボックスカルバート・もしくは単体のボックスカルバートをトレンチの中に沈め所定位置に吊金具で固定し、スラリーを固化する事によって工事完了とする簡便で画期的な函埋設工法です。

沈埋工法 特徴

- ①周辺地盤の変状等の問題もなく、地下水位の変位、地下水沈染等の心配がない。
- ②スラリーは、沈埋後適当な硬化、その硬化比重により周辺地盤と重量的バランスすることから、特別の基礎工を施さなくてもよい。
- ③ボックスカルバートを包み込んだ状態でスラリーが硬化し、スラリーの透水係数が小さいため、接続部から漏水することなく水密性の優れた函路が出来る。

